

市長と語ろう！まちづくり懇談会 【意見・質問集約】

小諸市総合計画 第12次基本計画の策定に向けて、市政全般にわたり意見交換を行いました。

全9回、参加者総数306名（うち議員16名、職員123名）

※（）内にどこの会議での意見が記載。記載が無いものはアンケートでの内容原文のまま。

【凡例】

- A 基本計画・実施計画に反映します
- B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの
- C 反映又は参考にすることが難しいもの
- D その他A～Cに該当しないもの

【政策1】子育て・教育	出された意見への対応	
【施策1-1】教育環境『学校再編』		
・学校再編により、通学が遠くなる。小学生の見守りどうするか、スクールバス運行するのか。中学生と一緒に通うなどの方策検討しているのか。（大里地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として学校再編に伴う通学方法の計画の中で検討します。
・「小中再編」と「高校再編」の一貫した情報発信を。 →私は小中再編の懇談会の市民委員として参加させていただいていました。高校再編の報告会も参加しましたが、時期同じくして再編される小中と高校の情報発信のやり方に、計画主体の違いもあり、かなり違いがあるように感じました。なかなか難しそうと思いつつ、一貫した情報発信を心がけていただけると、教育に関心を寄せる一市民として、キャッチアップしやすくありがたいですし、ますます「小諸の教育」として打ち出せるように思います。（全地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として検討します。（県教委とも協議します。）
（子どもを産み育てやすいまちづくりグループワーク意見） ・ソフト面の情報提供が少ないので発信してほしい。 ・仕事をしている保護者も多いので、説明会等、短時間かつ実施時間を配慮してほしい。 ・25人程度の少人数学級にし、教師や子どもの声を反映できるようにしてほしい。 ・特色があり、魅力的、かつ子どもの意見が反映される学校になってほしい。 ・自校給食が小諸市の強みと思われるので、もっとアピールしたらどうか。 ・学校再編について、小諸市が「子育て・教育」に力を入れているんだという本気を見せてほしい。また、その象徴（シンボル）となるような（目立つ）建物にしてみようではないか。 ・学校の統合について、母校がなくなる寂しさがある。子どもが減っているというマイナスイメージが強い。統合が良いイメージになるようなアピールをしてみても。 ・通学時間は長くなり、距離も遠くなるのが心配。 ・学校の跡地活用について、情報がない。地元の子どもたちが使えるように活用してほしい。	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として検討します。
【施策1-1】教育環境『特色ある教育へ』		
・東大や京大に行くことより、地域に合った特色ある教育を。（西小諸地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として検討します。
・地域住民は学校で隋いきれない問題を抱えている。千曲小の跡地を利用して、学校で受入れできない子どもたちを見て欲しい。（川辺地区）	D その他A～Cに該当しないもの	跡地利用計画の中で検討します。
・昔と比べて子どもが少ない。子育て大変だというのが、給食費や保育料が上がっているわけではなく、経済的にも環境的にも昔より恵まれている。良いモデルを示せば良いのではないか。（北大井地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として検討します。
・小諸に移住して来ているミュージシャンが沢山いる。その方たちや野岸小の子どもたちでコンサートをしたら、移住に弾みがつくのでは。（三岡地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として検討します。
・7年説を信じている。小諸で育った子どもたちが、また小諸に戻ってきけるような教育をして欲しい。（南大井地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として検討します。
・手間をかける、子どもたちにこそと願いたい。「子どもたちに生きる力を育むとは」を皆で真剣に、また様々な観点から考えたい。（中央地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として検討します。
・この時期、ヘルメットを被って登下校していると汗だくになっていて熱中症が心配。着用については、個人の判断とさせて欲しい。（南大井地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として検討します。
・自校給食に地元食材を使い続けることで農家が増え、活性化につながる。（子どもを産み育てやすいまちづくり）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として検討します。

【施策1-1】教育環境『通学・学校以外の活動』		
・押出地区はスクールバスを利用できない。5m離れた旧滋野はスクールバスを使っている。これまで何度も要望をしているが、押出地区も使えるようにして欲しい。 ・小中再編の令和10年まで待てない。今現在、困っている。市内各所で同じような問題があり、いっぺんに解決できないとしても、一つずつやっていかなければ問題は解消しない。（中央地区）	D その他A～Cに該当しないもの	学校再編に伴う通学方法の計画の中で検討します。
・夏休み中のプールがないこと、登下校時の、ヘルメット、ランドセルについて学校の裁量で負担軽減できないか、考えていただきたく思います。（北大井地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として検討します。
・子供たちが危ない。小学生が夏休みに入ったが、ラジオ体操は3日しかない。学校のプール登校は教員の働き方改革で廃止されている。市民プールもなくなった。親御さんに聞くと、ただ家でゲームをしているだけと言う。二つの中学のプールを開放して子どもたちが使えるようにしたらどうか。 - 米国では、夏休み中、様々な民間主催のサマースクールがある。小諸市でも子どもたちの活動になる何かできないか。（中央地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として検討します。
【施策1-2】子育て環境		
・ママさん方によると、保育園の充実、移住する時の決め手になると思います。 - 軽井沢の風越学園の評判は周りの女性からよく聞きます。 - 小諸市にも、いつか、公立でも私立でも、そんな評判の学校が出来たら良いですね。（中央地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	子育て環境の変化に応じ必要な支援の検討を行います。
・できるだけ、世帯は親子2世代が助け合いを行うことで、うまくいくと感じます。2世帯家族を推進する施策を進めてもらえるといいと思います。（中央地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	子育て環境の変化に応じ必要な支援の検討を行います。
・働きやすい環境について - 男性も育休を取りやすい、早く帰宅できるなど、男性も働きやすい環境という観点での政策はあるのか？（全地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	こども家庭庁における働き方改革の基本方針及び目標の中で、育児休暇取得率の目標値等が示され、職域における基準となっております。育児取得に向けた啓発に努めます。
・子育てを支える人への投資を。 →市長プレゼンの中で、「保育士不足は全国的な問題なので、（小諸市が）給料を上げればよいという問題ではない」というようなご発言があったかと思いますが、本当にそうでしょうか。小諸市が給料を上げる（などの保育士の待遇改善を行う）→近隣から保育士が集まる→近隣地域も保育士の待遇を上げる…という流れはあり得ると思います。市政として、ここにお金をかける（近隣地域と比較の観点があると分かりやすそう）、というのを打ち出してもらえたらと思います。（全地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	保育士の確保策として、正規職員の増員と会計年度任用職員の時給額の引き上げ等の処遇改善を行いました。正規職員につきましては、令和10年まで計画的な増員を図ります。
・美南ガ丘小学校の児童数多い。児童館のスタッフの充実を。（三岡地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	スタッフの確保と共に、こどもが主体的に過ごせるようスタッフの質の充実も含め検討します。
・子ども食堂、寄付とボランティア頼み。不安定に見える。SDGsの貧困では？（三岡地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	今年度策定する「こども計画」において、現状を把握し、必要な対応を検討します。
■子どもの遊び場（子どもを産み育てやすいまちづくりグループワーク意見） ・遊べる場所、施設、ボール遊び等ができる施設が少ない。 ・ボール遊びや、走る場所、体を動かせる公園がほしい。 ・南城の公園はあるものの、小、中学生は保護者の送迎がなければ行けないため行きにくい。近くに子どもだけで遊べる場が欲しい。 ・小諸図書館は、他市町村からも評判がよく利用しているが、子どもが自力で行くことができたり、駐車場が増えると良い。 ・南城のプールはコロナで閉館したままになっており、佐久のプールまで行くのに大変だった。今後は開館するのか聞きたい。	C 反映又は参考にすることが難しいもの	新たな施設の整備は難しいですが、今ある施設を有効活用しながら、子どもたちの学びにつながる場や中高生の居場所づくりに努めてまいります。 なお、南城公園プールは令和4年度に廃止しました。 今年度策定する「こども計画」において、現状を把握し、必要な対応を検討します。

■コミュニティ（子どもを産み育てやすいまちづくりグループワーク意見） ○ママ友との交流の場が限定的 ・未就学児のこもロッジはあるが、それ以上の子の施設がない。幼稚園小学校のコミュニティだけになってしまう。 ・未就学児以上の子が利用できる施設が欲しい。 ○親が気軽に相談できる場所が欲しい ・市役所等に相談すれば、具体的に提案をしてもらえるが、もっと気軽に相談できる場所がほしい。 ・話を聞いてもらって、ガス抜きができるような場所が欲しい。 ○子どもがのびのび育ち、目標に向けて進めるようなサポートが必要 ・不登校や支援が必要な児童の増加に伴い、相談できる人（専門家）、時間（相談枠）を増やしてほしい。 ・小さな幼児が遊べる場所（季節天候等関係なく）を増やしてほしい。	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	関係課で行っている施策との連携を深めながら、必要な対応について検討します。 今年度策定する「こども計画」において、現状を把握し、必要な対応を検討します。
■子育て支援サービス（子どもを産み育てやすいまちづくりグループワーク意見） ○保育園に入園しづらい ・保育士不足により、入園や一時保育も難しい。 ・入園はできたが、送り迎えをするのに、通勤路の反対方向であったりするため不便。もう少し融通が利くと良い。 ・保育施設の拡充をしてほしい。新しい施設だけでなく既存の施設も収容人数を増やしてほしい。 ・保育士の給料の見直しをするなどして、保育士の増員をしてほしい。 ・保育士不足を解消してほしい。土曜日専属の保育士を配置してほしい。 ○児童館の対応が冷たい ・18時以降は有料になってしまい、なかなか定時に上がって迎えに行くのは難しい。職員も早く迎えに来てと厳しい。 ・長期休暇の際も、家で見れないのかと言われてしまい、もう少し柔軟な対応をしてほしい。 ○子育て情報が簡単に得られるプラットフォーム ・子どもの預け先を探す中で、親が「働いている」＝保育園にしか預けられないと思っていたが、働いていても幼稚園に預けられることが、子どもが大きくなってから周りの保護者から聞いてわかった。 ・地元以外の方でも、初めての子育ての方でも、子育てに関する情報を一括で探せるサービスを作してほしい（娯楽・生活・医療・教育など情報の軽度に関わらず） ○各種補助 ・妊娠、出産に対して補助を拡充してほしい。 ・コロナワクチン、生まれてから3回まで無償で接種できるようにしてほしい。 ・子育てで選ばれる市になって欲しい。ワンストップで相談できる場所が欲しい。子ども家庭センター、良いものとして欲しい。	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	○定期以外のワクチン接種補助については、優先順位や財源などの難しさがありますが、県・国の方針や、他市町村の状況も踏まえ、検討してまいります。 ○妊娠出産に係る補助については、現在も国の補助を活用し実施していますが、補助に限らず、こどもの福祉と保健が連携を強化し、子育てをサポートしてまいります。 ○保育士が確保されるよう、必要な対応を継続します。また、子育て環境の変化に応じ必要な支援の検討を行います。
子育てしやすい町 教育は小諸で受けたいと子育て世代の方が思うようになっていってくれることを願います。質問に市長が答える形は良いですね。 是非実現させてください。	D その他A～Cに該当しないもの	実現に向け取り組んでまいります。
貴重な機会をいただきありがとうございました。 一言、お願いします。 教育、子育て、これは小諸や日本、地球の未来をも左右する未来への投資です。単に目の前の少子化対応という結果の小学校合併ではなく、「通わせたい学校」となるために、今、そして今後必要な教育を先進的に取り入れてほしいです。海外の教育も是非参考にしてほしいです。日本の教育本体を見直す時なのだと思います。先駆けになってほしいです！	D その他A～Cに該当しないもの	実現に向け取り組んでまいります。

1. 女性の収入保障 出産休暇、育児休暇は取れるが収入が減ってしまう ⇒通常勤務時との差額を市でもっと補助したらどうか 2. 若者夫婦の誘致 引っ越し補助、新築補助、移住祝い金 3. 乳幼児の収容の枠取り 公立もそうだが、私立とも協力（補助）による余裕のある収容人数 4. 駅前の活用 シャッター街に子育て、学用品、女性向け店舗のテナントの誘致 5. 統合校 とてもロケーションの良い場所に建てられるので、小諸市の子育ての象徴となるような外観、エリア、内容を期待します。 「この学校に通いたいから小諸に来た」となるように・・・ ご検討をお願いします。	B 基本計画・実施計画 の検討にあたり参考にするもの	○2023年1年間の小諸市の転入者の状況を調べると、40歳未満が約7割と、若年層の転入が多いことがわかりました。今後も若者や子育て世帯の移住が増えるよう、各種制度を活用して取組みます。子育て関連も含め生活用品の買い物が身近でできることが理想です。郊外、中心市街地に関わらず関連する店舗誘致に努めます。 ○保育士の確保等に引き続き努力します。
・女性が集えて相談できる場所づくりの意見が出ていました。母親となる女性を支援することは重要ですが、男性が気軽に相談できる場所が欲しいです。 集わなくていいのですが、専門的知識を備えた方(男性の方が望ましい場合もあります)に相談できればいいなと感じました。 私は1児の父ですが、私が原因の不妊・男性不妊でした。どうするか方針を決めるのに迷い、子供を授かるまで年月を要してしまいました。ひとりや夫婦で考えるだけでは埒があかないので、当日みなさんのご意見を聞いて、そんな場所があればと思いました。	B 基本計画・実施計画 の検討にあたり参考にするもの	男性、女性に限らず、妊娠可能性も踏まえて健康を考えるプレコンセプションケアについて啓発し、相談窓口等についても周知してまいります。
・女性が妊娠した際に収入を保障してほしいという意見がありました。 たしかに、産休・育休の期間の収入が保障されれば育児に専念できるので、実現してほしいです。 自分が幼い40年前は子供の数は現在の倍以上でしたが、市内の幼稚園・保育園の数は変わりありません。先生たちも少なかったです。現在は、先生のこなす業務(負担)が昔よりも多く、多岐にわたっているのだと思います。 市の条例で先生方の負担を幾分かでも軽くできたらと思います。 また、当時と比べて物価が上がり、実質賃金下がりが、夫婦共働きが大多数を占めるようになったことも原因だと思います。 生活苦で育休を長くとることができないが、働く場所もない。だから子供を生まない…… これは国の政策がいけないのですが、小諸市だけでも産休・育休期間中の女性の収入保障があればクリアできます。 また、これを出産から最長5年間とすれば、子供を保育施設に預ける年齢があがって、保育施設でみる子供の数が押さえられ、先生の負担は軽くなります。 シングルマザーだと保障額は大きくなりますが、夫婦揃っている家庭の場合は配偶者控除で103万円の壁がありますので、仮に（数年前の水準にして）小諸市で年間250人の子供が生まれて、双子がいなくて夫婦揃っていると仮定して、1家庭に年間100万円を保障するならば、小諸市で年間2億5,000万円の支出になります。5年以内に第2子・第3子が生まれるならば、1家庭に保障する額は増えません。現時点ではこのくらいの支出の想定で大丈夫なはずですが。 では、財源はどうするのか？今の小諸市の勢いならば市債を発行してもかなり確保できると考えますが、民間の保険会社と組むことも手段として考えられるかなと思います。 小諸商工会議所は年間4億5,000万円の予算を組んでいます、その内訳は会員からの会費に加えて共済の業務代行(委託)手数料や積立金利子によってかなり賄っているようです。 そうなれば、小諸市は小諸市全体として特別団体保険とでもいうような形で加入して、1人あたりの保険額を低くすれば負担は小さいですが、41,000人の人口すべてが加入して、小諸の2,000社の企業が加入すれば大きな掛金になりますし、市役所の業務代行手数料も莫大なものになります。こうなれば、上記の産休・育休期間の収入保障は難なく行えると思います。 また、ここまで考えれば、小諸版ベイスックインカムが実現できるのではないかと考えています。 ただ、条件で小諸に移住してくれたら最長何年、築50年以上の家に住んでくれれば、小諸で就職してくれたら、等々の条件をつけ、全員ではなくても月々決まった額が入る人（世帯）があれば楽になり、新たなステップを踏みたくなるインセンティブになるのではないかと考えます。 そして、この条件に所得税の同居老親控除のようなインカムの条件を附せば、核家族化解消のきっかけになるのではと思いますし、そうなれば子育てはぐっと楽になるはずで、家庭で子供をみる時期が延びて、保育施設や先生の負担も減るという好循環が生まれるのではと思います。	B 基本計画・実施計画 の検討にあたり参考にするもの	子育て環境の変化に応じ必要な支援の検討を行います。

【施策1-5】スポーツ振興『市民プール』 ・未来の子供たちのために市民プールの再建をしてもらいたいです。(何年後でも構いません) 住み良い街、住みたくなる街、冬はスキー場などありますが、夏場の楽しみも子どもたちに作って欲しいです(南大井地区)	D その他A～Cに該当しないもの	代替事業(近隣市及び民間のプール施設利用の補助)を実施しており、今後も水に親しむ機会を確保してまいります。
【施策1-6】人権意識 ・同じ仕事をする仲間とのつながりを強くすることで、知り合いが知り合いを呼んで働きやすい環境になる。(若者が出会いつながら)	D その他A～Cに該当しないもの	
【政策2】環境		出された意見への対応
【施策2-2】環境保全『ゼロカーボンの推進』 ・小水力発電を研究してみてもは。(大里地区)	A 基本計画・実施計画に反映します	小水力発電は、脱炭素先行地域事業の計画に含めているため、取り組む予定です。
・2050年、ゼロカーボンを達成したときの生活のイメージが出来ない。どうなるのか。(三岡地区)	A 基本計画・実施計画に反映します	化石燃料を使用する給湯器やガソリン車などによる温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにするため、再生可能エネルギーの活用促進などを図ることにより、ゼロカーボン関連事業を推進するとともに啓発を図ります。
【施策2-2】環境保全『太陽光発電施設』		
・雨水の心配、安全・安心の確保が必要。太陽光発電施設も雨水処理できないところがある。(西小諸地区)	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	小諸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例等を、適切に運用してまいります。
・野村屋の太陽光は条例の影響を受ける。(川辺地区)	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	小諸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例等を、適切に運用してまいります。
・太陽光発電の方針転換の真意はどこに?営業権の懸念消えていない。(三岡地区)	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	他市町村の動向を参考に、住民同意を必要とする小諸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例を制定しました。本条例を、適切に運用してまいります。
・小諸は景色がきれいなのに、最近ソーラーパネルが増えてきて昔の時の景観がなくなっている。(若者が出会いつながら)	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	小諸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例等を、適切に運用してまいります。
【政策3】健康・福祉		出された意見への対応
【施策3-2】福祉環境『支え合いマップ』 ・天地区、民生児童委員の担い手がいない。支え合いマップ作成したが更新されておらず、誰を助けなければいけないか分からない。小諸市や地域が消滅しないために、顔が見える関係が必要。対策を打って欲しい。(中央地区)	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	区役員、民生児童委員等の担い手不足は各地区共通する課題であり、市・社協・区が課題を共有し、協働による対策を引き出すことが必要と考えます。支え合いマップの更新については社協に情報共有しますので、区の協力をお願いします。
【政策4】産業・交流		出された意見への対応
【施策4-1】農業振興 ・菜種油を作っているが売れない。コンバインが痛んでいるので何とかして欲しい。(西小諸地区)	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として対応を検討します。
・U字溝入っていない農地も多い。水害つながるので補助金などがあれば設置していきたい。	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として対応を検討します。
・井子区は圃場整備がされていません。全区民の同意をまとめられなかったのがいけなかったわけですが、規模を小さくしても計画して欲しい。(西小諸地区)	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として対応を検討します。

・ため池の管理等に関する支援をして欲しい。ため池から田へのパイプラインの整備。（川辺地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として対応を検討します。
・荒廃農地の周りがすべて荒れてしまい、元に戻すことはできないと思います。普通の農家は復活できないのが現実と思う。（川辺地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	中山間地域の遊休荒廃地対策の必要性を考えています。
・赤沼用水の水質が悪い。馬瀬口の雑排水が入っているのでは。馬瀬口の区長に話に行く予定でいるが、市も対応して欲しい。（南大井地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として対応を検討します。
・農産物にも自然にもまだまだ知らないタカラモノが小諸にはたくさんある（中央地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	更なるブランド化を進め、効果的な情報発信方法について、引き続き研究していきます。
・10年、15年先の小諸市の景観を懸念している。農地の里山化が必要。農振農用地が多すぎる。（全地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として対応を検討します。
・元々住んでいる方も安心出来る社会環境を整えていただきたい。将来的に安心出来れば移住者との相乗効果が生まれるはずです。小さなりんご農園ですが、カフェを営み観光客集客に努めています。新規出店だけでなく既存農家にも目を向けて欲しい。（中央地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	既存事業者の業務拡大や資金面での支援を継続します。また、事業者間で相乗効果が生まれるよう、積極的な観光誘客に取組みます。
【施策4-2】企業誘致・事業者支援・起業家育成『地域経済活性化』		
・大型のショッピングモールや回転寿司等の遊べる場所が欲しい。（出会いつながるまちづくり） ・佐久でご飯を食べることが多い。（出会いつながるまちづくり）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	用地確保など、大型ショッピングモールの誘致には難しさがありますが、郊外を中心に生活関連小売業などの誘致には引き続き取組みます。また、市内にはチェーン店は少ないものの、特徴ある飲食店が増えてきましたので、ぜひ利用いただきたいです。これまで同様、出会いつながるような店舗誘致にも努めます。
【若者が暮らしやすくなるまちづくりグループワーク意見】 ・コンビニ、ファーストフード店、ファミレスを作ってほしい(特に駅前)。 ⇒市内にあるのは知っているが、遠い。だったら市外に行くorすぐに帰るとなる。小諸での滞在時間が少ない。 ・コンビニやカフェの数を増やしてほしい。学生が放課後に立ち寄れるような場所がほしい。 ・駅前にお店があるので、離れた地域(平原、加増、滋野)にもカフェやファミレスができてほしい。 ・自然や歴史といった強みと『音楽』を融合した小諸ならではのイベントがあると良い ・学校終わりは基本的に直帰する。佐久や上田で遊ぶときは休日。スタバに行くことが多い。スタバにしかない良さがあるから、他のカフェとかにはあまり行かない。御代田・軽井沢から佐久平方面は、電車の乗り換えがあるから大変。 ・交通の便をよくしてほしい。車を持っていない若者が多いため、移動手段である電車やバスの本数を増やしてほしい。また、公共交通機関を安く利用できるような市が支援してほしい。 ・交通の便が少ない(電車の本数も少ない、駅周辺しかお店がない)ので、スクールバス等、バスの運行ももっと気軽に使えるようにしてほしい。 ⇒ただし、高校生をはじめとする学生でも利用できる価格設定で。 ・高校生でも手が出せるような価格帯のおしゃれなカフェが欲しい。飲み物片手に電車の待ち時間を潰せるような、ちょっとしたスペース。例えば、駅の2階とかにあれば嬉しい。駅の近くにあるカフェ等は大人が多く、高校生には敷居が高いと感じている。大手門公園とか駐車場ガーデンに居ることもあるが、これからの時期寒くなるので暖が取れたら嬉しい。 ・交通手段が限られているので、電動自転車の台数を増やしたり、学生が使いやすい金額設定、予約方法を改善すれば、学生や若者が暮らしやすい街になると思う。廃校を活用しても良いと思う。	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・ファーストフード店やファミレスの誘致は郊外では可能性がありますので、引き続き取組みます。駅前への誘致は、物件的、スペース的に難しさがあります。しかしながら、駅周辺に学生の皆さんが滞在できる店舗が少ないとの指摘は課題と感じていますので、飲食店も含め、引き続き店舗誘致を進めます。 ・なお、現在、駅周辺には素敵なカフェがいくつかありますので、商工会議所などと連携して周知し利用促進を図ります。 ・今年度、まちたねプロジェクトで策定した「小諸駅周辺地域未来チャレンジビジョン」の「小諸の楽しいを日常に」を目標に公民共創で駅周辺の整備を進めてまいります。 ・地域公共交通についても現状を調査した上で、持続可能な公共交通サービスの構築に向け検討を進めます。
【若者が暮らしやすくなるまちづくりグループワーク意見】 ・高校生でも気軽にバイトができるお店が増えてほしい。 ・就職先が少ないイメージがある。専門学校とか大学進学で県外に出てしまうと、戻って来ようという気持ちがなくなってしまう。卒業した学校の近くで就職すると思う。 ・保育士、保健師になりたいが、県内の大学より、一度県外に出てみたいという気持ちがある。	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	企業誘致や店舗誘致により、就業先増加に努めます。また、求人マッチングサイト「信州小諸ジョブセンター」を活用して市内企業の情報を発信し、企業PRと人材確保を進めます。

・村田製作所のグラウンドを使ってマルシェやお祭りをやってほしい。	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	マルシェやお祭りは、主にまちタネ広場や公園、商店街で行われてきており、賑わいや元気を生み出しています。民間団体や個人が主催するケースが多いですが、企業等の主催や場の確保について、意見として関係先に伝えていきます。
・大学の誘致ができれば、若者が集まって出会いも自然と生まれていくのではないかな。（出会いにつながるまちづくり）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	学校跡地を活用した大学誘致を検討します。
○日用品の買い物（子どもを産み育てやすいまちづくり） ・学校で必要なものを買う場所がない。以前は市内に蔦屋があったのでよかったが、今は佐久市にいかないと買えない。仕事終わりに買い物に行くことが多いため、夜でも開いている店は市外になってしまう。 ・小諸市内に、電気屋、子供の服や、靴屋があり、他市にいかなくても必要なものがそろえられたらよい。 ・駅前など中心市街地に、女性向けのテナントや出産・育児用品を扱う店舗がほしい。	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	子育て関連も含め生活用品の買い物が身近でできることが理想です。郊外、中心市街地に関わらず関連する店舗誘致に努めます。
○若者が住みやすいまちづくりについて ・高校生には足がない。たしかに自分もそうだったかと思いました。徒歩か自転車、たまにバイク。徒歩や自転車では小諸はキツイですね。eggが少し大きめで手軽な移動手段が通年・毎日運行（増便も）できないかと考えました。ほかの市民や観光客の方々からもよく聞きます。会社組織を半官半民で立ち上げるのもいいかと思いました。 ・スターバックスコーヒーの影響に驚きました。ただ、個人的に小諸には全国的企業の店が少ないことが魅力で強みだと思っています。チェーン店には頼りたくないと考えます。我々が民間で何かおもしろいスポットを増やせないか腐心してみました。 ・高校生の生の声が聴かれて本当にいい機会でした。ジェネレーションギャップも相当に手痛かったですが、高校生にとって小諸はまだ魅力の少ないまちなのだなと実感しました。 個人的には、商工会議所青年部としていろいろがんばっていますが、少し浮かれたり、自惚れがあるなと反省しました。	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・ご指摘のとおり、小諸市は特徴ある個店が多く、チェーン店の多い近隣商業地とは差別化されたまちになっています。この強みをさらに伸ばすまちづくりが必要と考えます。一方でまちの機能としてチェーン店の存在も一定程度必要と考えられますので、中心市街地、郊外でバランスの取れた誘致を進めます。また、小諸の魅力について、若者に届くようSNS等を活用して情報発信に努めます。 ・地域公共交通の見直しの中で、現在は高齢者を中心に利用していただいている「こもろ愛のりくん」についてももっと幅広い年代の方に利用していただくような改善を検討してまいります。 ・まちづくりには、若い人の意見が重要だと思っていますし、それを実現するためには民間の力が欠かせません。いろいろなご意見を伺いながら公民連携で進めていきたいと考えます。
【施策4-3】観光振興・移住支援『観光振興』		
・与良から荒町にかけての町の風景がヨソの町のように、考えてみると、地元の人や子ども達の顔が見えないからではないのかなと思います。子どもの笑い声が聞こえるような、歩行者天国にして駄菓子屋を開いたり地元の人でも気軽に歩けるまちづくりはどうか？（北大井地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・賑わいの創出や交流を図るため、それぞれのエリアでどのような取組を目指すのか、商店街や実業会などの意見を聞き、後押ししていきます。より魅力的なまちになるよう、地域の皆さんのご協力もお願いしたいと思います。
・コロナ禍にもかかわらず新しいお店がたくさんオープンしている様子に、元気をもらいました。大切なのは、この活気、勢いを継続することなのかなと思います。その支援やサポートをお願い致します！（中央地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	既存事業者支援、起業・創業支援を継続するほか、誘客、移住・定住促進に注力し、店舗利用者を増やす取組を続けます。
・少しだけ小諸の観光のお手伝いをしたことがあるのですが、住んでいても知らないことがたくさんありました。観光客はもちろん、市民がもっと小諸を知るようにするにはどうしたらよいのでしょうか。それが市の活性化に繋がると思うのです。（全地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	小諸の魅力について、SNS等を活用して効果的な情報発信に努めます。

・インバウンドに関しては、途中まで進んでいたかのように感じます。まだまだ、対応できるところは少ないと思うので、蒸留所やスタラス小諸など新しいところから発信して行く方がいいと思います。そこまでの交通機関の整備とともに、また市民や学生などと、外国人の目線で観光ツアーをしながら、ここに英語の案内があるといいよね、とかマップやガイドブックを一緒につくったりとまちづくりを行っていくと、学生もまた、新たな小諸の魅力を感じ、Uターンにつながるのかなと思います。（全地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	・インバウンドの取組はコロナ禍で途切れていましたが、こもろ観光局と連携しあらためて注力していきます。 ・令和6年度で実施する公共交通の調査業務の中で現状を調査し、持続可能な公共交通サービスの構築に向け検討を進めます。
・シェアサイクルについて、最近、急坂を通行しているシェアサイクルを見掛けます。その人達がヘルメットをつけていません。ヘルメットも貸し出すことが必要だと思います。（川辺地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	観光局で貸出すレンタサイクルでは、ヘルメットの着用をお願いしています。
【若者が出会いつながるまちグループワーク意見】 ・その場でしか味わえないようなことや、趣味等がピンポイントで合うイベント（猫がたくさんくる、県外のカフェが集まる等）なら参加してみたい。 ・屋台が出てると行ってみたいと思う。 ・朝の環のような継続的に行うイベントは良い。 ・土日は人が少ない。夕市を行っているがそこまで人が集まっていない。 ・同窓生を集めてスポーツ大会を企画する…みんなと一緒に何かをすることで昔のつながりをより深める。 ・共通の趣味を持つ人を集め同じ話題を共有できる人同士でつながりを深める（音楽、お酒、車etc） ・若者が運営側になって一緒にイベントを企画することでつながりを深める…若者が自ら企画することで同じ世代が楽しめるイベントを開催でき、若者が主体的につながりを深めることができる。 ・複数のイベントを実施し、1日ずっと何かしら（フードコート・屋台・手品する？）できるようにすれば行く気になる。 ・年齢層でターゲットを絞る（ex～20代前半：スポーツイベント、20代後半～30代：お酒イベント等） ・25歳くらいで一度集まる場（大人の修学旅行）を設けて、キャンプなど共同体験をしつつその場で小諸在住の若者から小諸についてのPRを行ってもらう。 ・他自治体と協力することで小諸だけでなく一緒に発展することができるのでは。 ・郊外に住んでいる人と街中に住んでいる人やイベントと繋がれていないような印象がある。 ・街中（東部・中部）と郊外（西小諸・川辺）とで力の入れ方に差がある感じがする。	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	まちタネ広場などで民間団体や個人が主催するイベントが週末を中心に開催されており、にぎわい、交流を生み出しています。この状態を継続し、さらに様々なアイデアによる催しが開催されることを期待します。また、これらイベントを小諸の魅力や楽しさとして情報発信し、交流の場を増やしています。
・懐古園に土日に行ったりするが、ご飯を食べるところが少ない。（若者が出会いつながる）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	小諸の「食」の魅力について、若者に届くようSNS等を活用して情報発信に努めます。
・職を中心とした世の中になっているが、食を中心とした方がよりよいつながりが持てる。（若者が出会いつながる）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	小諸の「食」の魅力について、若者に届くようSNS等を活用して情報発信に努めます。
『移住』		
・市長の話は町場中心の話。農地ばかりで若い人が住むところがない。（西小諸地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	郊外への移住者を増やすため、関連区と連携し、空き家バンクのさらなる充実を図り誘導します。
・移住者が増えているようですがその後の感想や評価はどのようなものでしょうか？（全地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	移住者交流会を開催し意見交換を行っています。引き続き、交流の場を作っていきたいと考えます。
・Uターンを推し進め、子供達が故郷にもどって小諸を活性化する取り組みを進めていただくことを願います。（中央地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	元気で賑わいのあるまちの構築と、地元企業とのマッチングサイトの運営、企業誘致による就業先の確保を進めます。移住については、国・県の補助金等も活用しながら、小諸に戻ってくる取組を推進します。

・小諸で育った子どもが将来も小諸に住んでもらえるような施策を考える必要があると思います。	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	元気で賑わいのあるまちの構築と、地元企業とのマッチングサイトの運営、企業誘致による就業先の確保を進めます。移住については、国・県の補助金等も活用しながら、小諸に住み続けってもらう取組みを推進します。
・人口減少は避けられない。近隣で取り合っている解決にならない。広域連携して移住促進できないか。（北大井地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	佐久市、軽井沢町、御代田町は、それぞれ移住促進を進め、小諸市も含めた2市2町は移住者が増えていますので、エリア全体での取組みとなっています。この状態を継続します。
【若者が出会いつながるまちグループワーク意見】 ・佐久と比べて土地が安いと、小諸に家を建てている知合いが多い。 ・空き家を改装して売るのはどうか。 ・社会増となっている理由を分析して、そこの分野を伸ばしていくのが良いのではないか。	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	空き家バンクを活用する移住者も増えてきています。新築の場合、物価高騰の影響で建築費用は高額となっていますが、その分土地は比較的安価のため、不動産業者等と連携し土地の紹介もし、定住者を増やしていきます。 2023年1年間の小諸市の転入者の状況を調べると、40歳未満が約7割と、若年層の転入が多いことがわかりました。今後も若者や子育て世帯の移住が増えるよう取組みます。
【政策5】生活基盤整備		出された意見への対応
【施策5-1】中心市街地・公共交通整備		
・小諸市内は電線ばかりで網目のようだ 地中化にして欲しい。（西小諸地区）	C 反映又は参考にすることが難しいもの	相生町通りはアーケードの撤去に併せて電線地中化を行いました。他の通りについては、現時点では予定はありません。
・高齢化により、免許返納も近いので公共交通の充実を。（西小諸地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	コミュニティ交通「こもろ愛のりくん」の利便性を高め、より多くの方、幅広い年代の方にご利用いただけるよう常時見直しを行ってまいります。
・次世代公共交通としての取り組みについてですが、村部から市街地への公共交通として更に利便性を高められるよう取り組みをお願いしたいです。（川辺地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	令和6年2月には、夕方・駅送迎便の試験運行を行いました。引き続き多くの方が利用しやすい運行方法の検討をしてまいります。
・小諸への移住を予定している。公共交通の拡充を。あいのり君の利用範囲を市民以外にも拡大して欲しい。観光客も対象に出来ないか。（南大井地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	令和5年度に交通社会実験「緑J O Y！小諸」で観光客も利用できる相乗りタクシーこもろ巡り便の運行を試行しました。その結果を基に交通事業者とも連携しながら公共交通サービスの構築に向け検討を進めます。
・イベントに行くにしても車がないといけない。交通の便があまり良くない。（若者が出会いつながる）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	現状の調査を行い利用者のご意見も伺いながら、持続可能な公共交通サービスの構築に向け検討を進めます。
【施策5-2】社会基盤整備		
・学校再編に合わせて、通学路歩道の設置をお願いします。大久保～小中学校まで。（川辺地区）	D その他A～Cに該当しないもの	県に要望しています。
・県外ナンバーの車が細い道をスピードを出して通るので危ない。R18付近にスマートインター設置出来ないか。（南大井地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	スピードは路面標示等で周知します。小諸ICと佐久北小諸ICがありますので、これ以上の設置は考えておりません。

・当、東山区は利便性において良い地域であり、裏には糠塚山、糠塚山の整備もされ、ディバースラインの皆さんのお陰もあり、また、9月よりマイセルジャパンも当東山に入って来られます。ただし、区の中に道路らしいものが無く、市にお願いしてもどうだろうと申請のみは受け付けたものの駄目との見方であるようで区に光の通った道が開かない（将来に向けた道路の見直しが区が良くなるのか。（中央地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	道路の新設や拡幅については、評価基準に基づいた優先順位により事業実施しています。
・市は私たちが死に絶えるのを待っている。市営住宅の廃止が決定されている。住み慣れた場所に住み続けたいと思っている。（中央地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	居住者と交渉しながら、公営住宅等長寿命化変更計画に基づき実施していきます。
・市住のあり方をどう考えているのか。富士見平には子供が4人しかいない。若い人は公営住宅には入れないと言われたとかいう話も聞いた。（中央地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	公営住宅等長寿命化変更計画に基づき管理運営をしていきます。
・5年前にUターンしてきたが、近所の公園の遊具が全くなり、タイヤがおいてあるのみになっていてがっかりした。和田区は100名近く児童がいるが、和田研修センターの庭で遊んでいる児童が数名いるだけで、他の子が遊んでいるところをほぼ見ない。大規模な施設も良いが、日常使いの公園にすべり台やブランコを作ってもらえませんか。（南大井地区）	C 反映又は参考にする ことが難しいもの	公園の遊具については、現時点では増やす予定はありません。南城公園や乙女湖公園などの総合公園をご利用いただきたいと思います。
・飯綱山公園、草苅されてない。観光客を迎える姿勢としてどうなの？（三岡地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	飯綱山公園は、面積が広く草刈りなどの維持管理に苦慮していますが、令和5年度にPーPFI制度を活用して民間の施設が整備されました。公園の管理も一緒に行うことで多くの皆様に快適に利用していただけるよう努力してまいります。
・空き家や空き地が多くなってきて、木なども生えてきているが対策はどうか。（全地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	空家の問題は、引き続き所有者に指導していきます。また、空家相談会を開催していきます。
・空き家の問題。新しく整備したり、壊したりするとネズミが出てきます。町の中なので困っています。このことから、ネズミ対策をやればと思います。月に一日くらいネズミ対策が出来れば。（中央地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	空家の問題は、引き続き所有者に指導していきます。また、空家相談会を開催していきます。
・様々なお店ができていますがその街並みをどう整備するのか、そこはお考えですか？(写真が趣味。カメラを持って街歩きをしたい。観光に来た方にもその街並みを見てほしいと思うからです)（全地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	歴史的な建築物や町並みは、小諸の大きな特徴ですので、所有者の意向もお聞きしながら保存活用方法を検討していきます。
【施策5-3】水の安定供給		
・今後、老朽化した水道施設の更新、先送りしているが大丈夫か。木の伐採の様に、先送りにすると大きくなって大変になるのでは。（三岡地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	老朽化が進行しているものの、多くの施設を同時に更新することは、人間的にも費用的にも困難な状況であり、管路の経過年数のみならず、管種（材質）や布設状況、漏水発生状況等から更新時期を多面的に判断し、計画的な更新に努めます。
・移住者を増やすためにも水が大事。民間委託しているが水道料金高い。やかんなど白くなる。水質悪い。（南大井地区）	C 反映又は参考にする ことが難しいもの	白い付着物は蒸発残留物です。もともと水に含まれるミネラル分であり、水の品質に関する問題ではないことをご理解いただきたい。また、小諸市の「水」に関する「正しい情報」や「魅力」に触れる機会を増やす必要があると考え、100周年の節目を迎えるこの機に、魅力的な広報活動に取り組みます。
・水道事業を外委託したが、損益状況及び水道料金の見直し。	C 反映又は参考にする ことが難しいもの	ホームページにおいて財政状況を公表していますのでご確認をお願いします。また、令和7年度に経営戦略を改定します。経営戦略の見直しにより、水道料金の改定が必要と判断された場合は、適切な時期において、公平かつ透明性のあるプロセスを通じて改定する必要があると考えています。

【施策5-4】防災・防犯・交通安全		
・小諸市ホームページ分かりづらい。ハザードマップ、全くわからない。（三岡地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・HPの見直しをはじめSNS等を最大限に活用し効果的な情報発信に努めてまいります。
・市からの放送が聞こえづらい。聞こえない。何か良い方法で各戸へ出来ないか。森山区要望（三岡地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	LINEの普及促進と新たな伝達手段を検討します。
・自動車道の開通により、窃盗団が来ることが予想される。防犯カメラの設置を促進できないか。（南大井地区）	D その他A～Cに該当しないもの	すでに実施しています。
・養護学校付近でも不審者がいる。防犯カメラを設置して欲しい。（南大井地区）	D その他A～Cに該当しないもの	県警補助及び市の補助を活用して、区或いは管理者で検討いただきたい。
・警察でも乙女駅付近においてはとても危ないところであり、そんなことを聞いて防犯カメラが必要とされているが当区には予算が少なく行政に頼る次第であり工夫しているが到底手が届かずにいます。小さな区に手厚い良き計らいを頼むものであります。（中央地区）	D その他A～Cに該当しないもの	他の区への補助経過もあり、特別対応は困難です。
・治安、防犯対策。防犯カメラの設置に関し適切なアドバイス及び市の防犯対策。	A 基本計画・実施計画に反映します	警察と連携した防犯対策を実施しています。
・学校再編で廃校となった場合、避難場所はどうなるのか。	D その他A～Cに該当しないもの	指定を取り消すことになります。
・井子区、平日の朝、通勤車両が東御市から井子区を通過してサンラインの渋滞を逃れようとしている。児童の通学路になるので、速度制限をするなど対策を考えて欲しい。（西小諸地区）	D その他A～Cに該当しないもの	個別の案件として検討します。
【政策6】協働・行政経営	出された意見への対応	
【施策6-1】市民主体のまちづくり		
・地域では高齢化により各役員の選出にも苦慮してる現実があります。お金と人が足らなくなる分、人と人との関係により解決していかなければならないと思います。 地域が持続するため地域の取り組みへの支援、中間支援の取り組みの検討をお願いいたします。 1 区と役所の関係の検討（役所からの依頼で選出する役員・事業の見直し） 2 区の役員は通常1年で交代するため中長期的な事業が難しいです。5年先10年先の地域を考えるための支援があると良いと思います。 3 地域の拠点である小学校の統合により、地域コミュニティに大きな変化が予想されます。地域の拠り所となる場・仕組みの創出を。（大里地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・市から区への負担軽減など引き続き区への支援について検討を続けていきます。
・地域の高齢化進行している。糠地区は区費が高い。28,000円/年。（西小諸地区）	C 反映又は参考にすることが難しいもの	区費は自治会内での決定事項となりますが、ほかの区の情報共有などには取り組んでいます。
・区の財政に余裕が無いわけですが 予算もつけてほしい。（西小諸地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	区長や区への手数料のほか、集会施設等の補助事業、コミュニティ助成事業の支援などに引き続き取り組んでいきます。
・小諸が好きで、小諸を誇りに思っている人を増やすことが大事という市長の考えに賛成です。 ・小諸市にお金と人材を投入して協働する企業ばかりでなく、人知れず雑草をとって道路をきれいにしている人がいます。（中央道路で雑草をとっている老男性）など、小さな活動にも市役所で目を向けて下さい。	C 反映又は参考にすることが難しいもの	個人の小さな活動も地域コミュニティの力となります。市としてもこうした活動や情報を大切にしていきます。
・生涯に渡り住み続けたい街になりますように。若者、移住者だけでなく今いる住民も。（中央地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	・移住定住施策に合わせて市民の皆様が住み続けたいまちとなるよう取り組んでまいります。
【施策6-2】行政経営		
・HP見にくい。内容が更新されていない。古いデータのままだ。（大里地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	・HPの見直しをはじめSNS等を最大限に活用し効果的な情報発信に努めてまいります。
若い世代への支援に、どんなものがあるのかわからない。 支援特集みたいなものをして、周知して欲しい。 同様に、世代別で支援事業があるなら、それも周知して欲しい。（中央地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・各種支援については、引き続き効果的な情報発信となるよう研究してまいります。
・小諸の良いところをもっと多くの人に知ってもらわないとったない！ 様々な方法を使って発信してほしい！（中央地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	・効果的なシティプロモーションとなるよう取り組んでまいります。

・小諸がテレビに出てたよ、と言われることが多くなった気がしていた！ 選ばれるまちづくりという観点では、自分自身は選んで小諸市に住むことを決めたので、沢山の人に選ばれるまちにどんどんなって欲しい。（中央地区）	D その他A～Cに該当しないもの	・今後も選ばれるまちとなるよう取り組んでまいります。
・小諸が褒められると、住んでいる自分もなんだか嬉しくなるときがあります。 嬉しくなると、SNSなどで発信することも増える、それがある意味口コミになるのだと思います。 私達が小諸を発信したくなるようになっていくことが理想だと思いました。 可能であれば、小諸市の公式SNSでもメディアに取り上げられたことをお知らせしてもらえると嬉しいです。（中央地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	・引き続き、効果的なシティプロモーションとなるよう取り組んでまいります。
・人口移動について 移動に関する統計データを整備することに関してどのように考えているか？（全地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	・人口移動のデータを分析すると、進学や就職世代の減少が増加しているため、雇用の確保等を中心に対策を講じてまいります。
・どんなイベントをやっているのか、どこで発信しているか分からない。（若者が出会いつながる）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・最新のイベント情報が容易に取得できるよう、公式HPやSNS等の効果的な情報発信に努めてまいります。
・インフルエンサーに発信してもらえば有名になるチャンスがあるのでは。（若者が出会いつながる）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・費用対効果等を見ながら研究してまいります。
【若者が暮らしたくなるまちづくりグループワーク意見】 ・お祭りや懐古園の観光(桜や紅葉)の情報をもっとわかりやすく、若い人でも得られやすくしてほしい。 ・SNS等を活用し、まずは小諸市を知ってもらうことが大切だと思う。著名な方と音楽関係でコラボをして『音楽のまち』を多くの人に知ってもらおうと良いのではないかな。 ・自然や歴史という強みを多くの人に発信した方が良い。 ・小諸市には沢山良いところがある。市外の方にPRしていくと良い。	A 基本計画・実施計画に反映します	・引き続き、効果的なシティプロモーションとなるよう取り組んでまいります。
・こういう場をもっと設けて、批判も受けて事業を進めて欲しい。（西小諸地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・コロナ禍で停滞していた公聴事業をさらに拡充し実施してまいります。
・人口の社会増素晴らしい。学校再編など、スクラップ＆ビルドしっかりやって欲しい。（川辺地区）	A 基本計画・実施計画に反映します	公共施設等総合管理計画に基づき将来の地域変化に対応した施設の再編や公共サービス機能の見直しを進めます。
・個人的には区長の仕事も今後の高齢化を考えると抜本的に見直す必要があるように思います。配布物のデジタル化も若い人には違和感ないと思います。コロナ禍で今までの会議もいくつかは不要かなと思っているのですが。（北大井地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	区の活動のICT化などは今後検討していく重要な課題であると考えています。

・まちなかが以前と比べて変わってきたという印象は確かにあります。活気や楽しみといった明るさが感じられるようになったと思います。 市長の説明はよく理解できましたし、これまでの市政によってまちなかの変化がもたらされたのだと腑に落ちました。今後にも期待したいと思います。 ただ、一点だけ気にしておいてほしいことがあります。それは、真の人口減少・少子化対策は、人口を減らすまい、増やそうという対策ではなくて、不可避の人口減少・少子化社会の中でもちゃんと生きていける、そのためにみんなが少しずつ我慢してもあるいは損をしてもよいと考えられる社会の合意づくりなのではないかということです。市政の片隅にこのような視点を置いていただけることを望みます。 (以下は単なる感想です) 市の基本構想というものがあると知ってから、自分なりにコピーを考えました。それは、 一、健全な財政 一、健全な環境 一、健全な市民感覚 です。 三つ目の健全な市民感覚というのは、市民のマナーや主体的意識だけでなく、上述したような「みんなで少しずつ我慢しよう」と考えられるかどうかということも含まれます。 二つ目まではあたりまえかもしれませんが、この三つ目を市長が市民に言ったら、総スカンを食らってしまうだろうとは思っています。みんなで我慢しろとは市長からは言えませんものね。でも、健全な市民感覚というのは、この度の市長プレゼン資料の最後の最後に書かれていた「シビックプライド」にも通ずるのではないかと思います。言わなくても市政の姿勢で示せば市民に伝わるかな、伝わればいいなと思います。(北大井地区)	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・人口減少社会の中で持続可能なまちとなるため、より効率的な行財政運営を進めて行くためには市民の皆様の理解を深める努力が必要となります。広報や公聴会などを活用しながら進めてまいります。
・基本計画について、手段が目標に設定されている。人口増は無理だと考えている。人口を増やす努力より、社会構造を変えるべき。(三岡地区)	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・地域コミュニティのあり方をはじめ、人口減少社会に対応できる社会構造の変革へ向けて市民の皆様と検討を進めてまいります。
・総合計画の中の目標とぐはぐな気がする。全体で整合性とれているのか。(三岡地区)	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・第12次基本計画の中で整合性を図ってまいります。
・基本的に施設の新設は反対。選択と集中するのであれば、その議論をオープンにして欲しい。(三岡地区)	A 基本計画・実施計画に反映します	・公共施設総合管理計画の中で、基本的には新規の施設は建設しないこととしています。施設総量縮減のため、施設重視から機能重視の視点で学校等既存の施設へ集約化や統合を図ってまいります。また、計画の推進状況や各施設等の更新等の方針について市民へ情報提供していくとともに、適宜市民ニーズの把握に努めます。
●ふるさと納税 物で税を他の自治体から剥ぎ取る。取られた立場を思うと制度自体がどうかと思う。不安定な財源では？今後も継続ですか？(三岡地区)	D その他A～Cに該当しないもの	・返礼品のブランド化や事業者の収益につながるなどメリットも存在します。 ・本市でも市外への寄附も多額であるため、制度がある以上は有効に活用し、自主財源の確保に努めるべきと考えます。
●人口減少、労働者不足 それを前提とした将来像を描く必要があると思ってる。 税収不足、インフラ未整備、維持継続市職員、人員不足、技術者の不足。業務の統合(広域化、合併)(三岡地区)	A 基本計画・実施計画に反映します	・人口減少時代に即した計画となるよう策定してまいります。 ・将来にわたり健全財政を維持していくため、計画的で効率的・効果的な財政運営を進めます。
・2025問題、2025～2040は高齢化が急激に進み、地獄のような状況になると中村先生が言っている。こうした様々な計画だけでなく、地域と一緒にどう行動していくかが大事。(中央地区)	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・広聴事業をはじめ、地域職員連絡会を通じ意見をお聴きする中で、地域課題の共有や地域コミュニティの活性化を目指してまいります。

【施策6-3】効率的・効果的な財政運営		
・国県の補助金も使って。千曲小の跡地利用は地域と相談を。（川辺地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	用途廃止となる小学校の活用・処分については、地域の意向に配慮し、適宜地域や市民との情報共有、合意形成を図りながら最適な活用・処分方法の検討を進めます。
・中央保育園が空いたままになっていて活用が出来ていない。学校統合が進んだとき、跡地利用はどうなるのか。（北大井地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	現在未利用となっている施設等については、公共施設マネジメントの取組において活用・処分の検討を進めます。
子どもを増やすために市として何が出来るか？ 学校の跡地を壊すのではなく ・水明小のグラウンド芝生は未就学児用の公園 ・体育館を園児、小、中、高などに分けて貸出しすることで保護者会も一緒に交流出来る場に ・土地が安いなら大型店を受け入れる（渋滞にならないなどメリットを）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	用途廃止となる小学校の活用・処分については、地域の意向に配慮しながら、幅広く民間企業・団体等の提案を募り、最適な活用・処分方法の検討を進めます。
・小諸市には良い施設があっても、壊れて色あせていく。南城プール、良い施設だったのに壊れたままにして、赤字だからと廃止になった。今ある良い施設を末永く使える様に対策して欲しい。懐古園も良い施設だが、入場料だけでなく、駐車場でもお金がかかる。（負担が大きい）（中央地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	公共施設等総合管理計画に基づき将来の地域変化に対応した施設の再編や公共サービス機能の見直しを進めます。公共施設の利用にあたっては、施設利用者に適正な負担をいただくことで、利用しない市民との負担の公平性を保っています。
・財政赤字を減らす長期計画を示して下さい。	D その他A～Cに該当しないもの	現状は良好な財政状況を保っています。将来にわたり健全財政を維持していくため、計画的で効率的・効果的な財政運営を進めます。
【若者が暮らしたくなるまちづくりグループワーク意見】 ・『音楽のまち』に力を入れて楽器を練習できる施設、音楽に触れられる施設が増えると嬉しい。 ・遊べるところ、趣味を活かせる施設があると良い。既存の施設は値段が高い。 ・広報、スマホで割引券を配ればもっと使いやすくなる。 ・図書館やこもテラスは施設がきれいだし、利用したい。しかし、使用できる場所（椅子や机）が少なかったり、飲食および会話の禁止等の制限が多い。会話もできて、飲食もできて、勉強もできるようなスペースがあったらいい。 ⇒交流センター等、今ある施設で利用できないか？ ・自由度の高いたまり場（飲食可、会話可など）がほしい。こもテラスなどの施設もあるが、席数が少なく利用できないことが多い。公共施設の空きスペースを開放することを検討してほしい。	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	市で保有する公共施設は、人口など将来の地域の変化等に対応した施設の再編や公共サービス機能の見直しを進めていきます。既存施設の集約化・複合化、また民間活力を活用した公共サービス機能のアウトソーシングなど見直しを進める中で、市民から求められる施設機能について検討していきます。
【施策6-5】市民サービスの向上		
・職員の対応良くなった。（大里地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	引き続き職員の人材育成に努め、市民サービスの向上を目指します。
・保育士の給料があまりにも安い。大事な仕事をしているので給料アップを。（川辺地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	保育士の確保策として、正規職員の増員と会計年度任用職員の時給額の引き上げ等の処遇改善を行いました。
・ユニークな街コンを企画して欲しい。（川辺地区）	B 基本計画・実施計画の検討にあたり参考にするもの	・出会いの場づくりへ向け民間や各種団体の活動を支援していきたいと考えています。

【その他】個別の対応が必要なもの、その他要望・意見・質疑・感想等		上記のほか50件のご意見がありました。 市政への参考にさせていただきます。
『まちづくり懇談会の運営、感想』		
・懇談会での発言をしやすくするため会場の設えを車座にしてはいかがでしょうか。（大里地区）		
・事前に質問意見票を配布し、市長プレゼンのあと回収し、それに対し回答する形式にした方がより多くの意見を集められると思います。（大里地区）		
・会場は学校方式でなく、参加者がお互いの顔が見える方式が良いと思います。（大里地区）		
・来た人が、来て良かったと思える形で終了すると良いですね。残り会場、実りあるものとなること祈念します。（大里地区）		
・次期計画を策定するのであれば、まず現計画の総括をしなければならない。市長の話と我々の生活と感覚のずれがある。（西小諸地区）		
・これまでの小諸の発展、取り組み。これからの小諸の歩みとビジョン。 本日の会場の市長さんの後ろに飾られている扁額の書に「國を培って本(すすむ)」とあります。 國とは、一つの政府に属する土地や社会を表していますが、まさにこの小諸という國、或いは佐久地域という國を行政、地域住民が手を携えて培っていくこと、自分たちの地域と子どもたちを育てていくことこの大切さをあらためて実感しました。（北大井地区）		
・市長さんや市役所の皆さんの説明分かりやすく良かったです。 お店が増えてきたと言うのは感じるところで、その事が小諸の活性化に繋がると本当に良いですね。 ただひとつ気になったのは役員で一緒だったような身内的な方が多く、このような懇談会のやり方はもうあまり機能的ではないような気がしました。お試しても、オンラインでやっても良いのでは？とも思いました。（北大井地区）		
・説明会でなく意見を聞く会では?資料は見てきました。早く意見交換に。（三岡地区）		
・市長の個人演説会に出ていると錯覚。 市民の意見を聞く場であれば、説明や回答は簡潔に。 選挙前だけでなく、選挙が終わったあとも継続しないと。 良い事ばかりでなく、上手くいってないこと、課題等についても包み隠さず伝え、場合によっては広く意見を求める事も。（三岡地区）		
・連日連夜、説明会ありがとうございます。 課題も多いかと思いますが、引き続き、一つ一つ、効果的に対応いただけるとありがたいです。（中央地区）		
・結婚して小諸に来た30年前、実家のある地域と違い空が狭く閉塞感を感じるような街…と感じていました。しかし今、実家に住む妹たちは「小諸はすごい！素敵！」と。遊びに来た妹たちや友人を案内する場所がたくさんあり、案内しきれないくらい。そんな小諸に住んでいることを嬉しく思っています。それは歴史のある街、だからだと思います。（全地区）		
・人口増を視野に入れ、市内・郊外にお店や企業を誘致して、若者、夫婦、子どもたちの暮らしやすいまちづくりのお話を頂き大変すばらしいと思いました。 ・折角のお話だったのに、そのテーマについて話が深まらず少し残念です。 ・来ているのが、ほとんど高齢者であるからかも知れません。 時間の関係もありますが、高齢者の暮らしやすいまちづくりの話も少し混ぜてあれば、そのことについて活発な議論がされるのでは？ 例えば、車の運転が出来なくなることについて大変不安に思っているお年寄りが多いと思います。日々の買い物どうしようと思っている人は結構いると思います。それについて、①あいのりくんの使い方の宣伝・充実。②移動販売の充実。③ネットで買い物はできる。（日々の食料品はつらい？）PC、スマホに対して私は出来ないというお年寄りをなだめすかして、ハイテクじいちゃんばあちゃんを育成していくなどなど。		

・市長、市役所の皆様の具体的な話が聞けて良かったです。将来の方向性と、市民の現実的な生活の不安の乖離は致し方ないのかな、とも思いました。 ・新生児からお年寄りまで不安なく生活できる対応力があるまちづくりを継続的にお願いします。ありがとうございました。		
・市政の声が聞けたのは大変良かった。 市長と語ろうが表題であるのに、実際にはグループディスカッションが主体であり趣旨にそぐわない内容であると感じた。参加者も多過ぎる。 また、前向きな意見を求められるため肝心な問題提起ができず、現状の市政を肯定する内容ばかりであったことは非常に残念。 はっきり言えば、本会を開催する趣旨が分からないまま終わった。本当にまちづくりを進めるために市民の声を聞くのであれば、違う方法を検討してもらいたい。		
おつかれさまでした。 比較的、若い世代の意見も聞けたので、よかったかな、と思います。私のグループは不満(言いたいこと)から入っていったのですが、動員がかかったとはいえ、色々な人の意見を聞く機会になったのはよかったと思います。動員もある程度は必要なんだな、と思いました。		
昨日はありがとうございました。 Aグループ楽しかったです。 ぜひ、大人の修学旅行イベントを実現していただければと思います。 青春時代を小諸で過ごした方を主にして、大同窓会感覚で出会いが生まれるイベント期待してます。 小泉市長になってから明らかに小諸は変わってきたと思います。どうかしよう、盛り上げていこうという気持ちはひしひしと伝わっています。 今回のような意見交換会があればまた参加したいと思いました。		
ワークショップでは模造紙と付箋があった方が他者の意見が見えて議論がしやすくなります。あとで振り返る際にも便利です。 きちんと設計されたワークショップとは思えなかったもので、ワークショップに慣れた方の研修を受けたり、そういう人にワークショップ設計のアドバイスをもらったりしたらどうでしょうか。 今回のワークショップでは、現状困っていること、こうだったらいいのと思うこと、現状の良いところ、こうしたら良いという提案、すべてがごちゃまぜに話されて、結局何がゴールなのかがさっぱりわからなくなりました。 せっかく多様な市民が集まる場で、このような時間の使い方はもったいないと思います。 厳しい指摘ばかりで申し訳ありません。小諸市は選ばれる街になりうるポテンシャルがあると思っているので、もっともっと良くするために意見を書かせていただきました。		
同世代の子を持つ親御さんと意見交換や共有することができた上で、市に対して要望することができてよかったと思います。 ファシリテーターや書記の方の進め方やまとめ方も満足でした。また機会があれば参加したいと思えました。ありがとうございました。		
今日は貴重な機会を設けてくださり、誠にありがとうございます。 市役所の方々と一緒にまちづくりに協力させていただければと思っています。		
とても話しやすく良かったです。 市にお願いしたいことももちろんたくさんありますが、どう情報をキャッチするか、どう一緒に作っていくか、一市民として考えていけたらいいなと思います。 引き続きよろしく願いいたします！		
すでに自分の子供達は大きくなっているため、色々な悩みは無いが、周りの方々の話を聞いているとこんな事があるんだと言う事が・・・今日の懇談会に出席して良かったと思いました。 人口もだいたい少なくなっている心配は、今まで特に気にしていなかったが、小諸市でもこんなに人口が減っているのは、色々切実な問題があるなあと感じました。 ずっと小諸市に暮らしているので、そんなに不便さなど感じていなかったが、皆さんの意見を聞いて色々な情報が得られて良かったです。 保育士さんが少ない、子どもが少ないだけでなく、なりてが少ないのはこれから子育てしていく方には本当に困ると思います。 親の自分から見ても他人の子供を毎日見ていくのは本当に大変だと。尊敬しなかったです。		
とても楽しい時間でした。小諸市について考えたことがあまりなかったので、色々考えることができました。 子どもの減少になかなかいろいろ考えることが無かったので、良い機会でした。		

このような会に参加できたこと心よりよかったと思いました。小諸市の現状について考えたら若者が暮らしやすいか、色々な人の意見も交え考える良い時間となりました。小諸市は自然豊かで人が優しくて本当に良い街だと通っていて思います。今回私たちが言わせて頂いた意見が反映して頂けたら嬉しいと思っています。本日は本当にありがとうございました。		
『個別事例の意見』		
・庁舎が張り紙だらけの職員のセンスでは、学校再編上手くいかない。（大里地区）		
・「小諸」のフォント、色々使われていて何が正式なのか分からない。デザインのディレクションが必要。（大里地区）		
・5年後、10年後の区の人口がどうなっているか等のデータがあると良い。（大里地区）		
・他市の方から小諸は勢いがあると言われる。ふるさと納税の現状と先行きは。（中央地区）		
・立体駐車場の案内が分かりづらい。（大里地区）		
・マイナ保険証を使うかどうかで医療費に違いが出るのか。（南大井地区）		
・小諸市ではマイナンバーカードの誤った事例はありますか？（中央地区）		
・環境対策費で小諸市単独で国から50億円支援金が降りるようなことを言ったけど、ほんと？国全体の予算じゃないの？（三岡地区）		
・脱炭素の話はメリットかデメリットか。（中央地区）		
・ワクチン接種に使ったコンテナハウスは壊さないのか。（全地区）		
・農業用水の改修、もう一本も対応して欲しい。（大里地区）		
・新工業団地の表流水は農業用水に流入させないで欲しい。（大里地区）		
・サンラインの谷間の位置に水が流れ込んで水害に悩まされている。（大里地区）		
・eggは市内で観光として使ってるが、年配の方が使っているのを見たことがない。（南大井地区）		
・兄弟で別の保育園に通っているという新聞の記事は本当か。（大里地区）		
・潜在的待機児童の49人は多いのか少ないのか。（中央地区）		
・タ方のサインメロディーがとても良い。（三岡地区）		
・住み良さランキング25位は率直にすごいと思い驚きました（中央地区）		
・西小諸で上手くいっていない事は何か。（西小諸地区）		
・市は川辺のことをどう考えているのか。（川辺地区）		
・ここ北大井地区で、取り組みが予定されている特徴的な事業はありますか？（北大井地区）		
・参加したことはないが、子育て中の友人がママ友同士で参加しているのをSNSで見る。（若者が出会いつながら）		
・催しは家族連れイベントが多いイメージ（若者が出会いつながら）		
・暮らしやすい（災害が少ない、人が多すぎずのびのびできる）（若者が暮らしたくなるまちづくり）		
・高等学校の設備が充実してくれると嬉しい（冷暖房等）（若者が暮らしたくなるまちづくり）		
・県外に出て戻ってくる理由とすれば、災害がなく平和な点。（若者が暮らしたくなるまちづくり）		